

正月料理の調理における家族形態等の影響について

大妻女大家政

○武川素子

大妻女大人間生活科学研

大澤清二

【目的】調理等の生活技能に影響を与える家族社会的要因を明らかにするために、代表的行事食である正月料理を取り上げた。調理の状況を表わす項目として正月料理の調理品目数を用いて、家族形態、調理者、正月料理に対する考え方などから正月料理の調理に影響を与える要因について検討した。

【方法】1992～1994年に家庭の主婦を対象に、正月の食生活について質問紙調査を行った。

【結果】

- 1) 家族形態別にみると、平均調理品目数は拡張家族は核家族より有意 ($p < 0.05$) に多くなっていた。
- 2) 正月料理を一品以上作った世帯を調理者という点から分類し、各々の平均調理品目を比較したところ、正月料理を主婦だけで作った世帯と、子供や姑(母)もしくは子供・姑(母)の三世帯が一緒に作った世帯と比較すると平均調理品目数が有意 ($p < 0.05$) に低いことが分かった。
- 3) 正月料理を作るに際して「伝統・しきたり」に最も留意すると回答した世帯の平均調理品目数は全世帯の平均調理品目数よりも有意 ($p < 0.05$) に高く、一方「簡便性」に最も留意すると回答した世帯の平均調理品目数は全世帯の平均よりも有意 ($p < 0.05$) に低いことが分かった。